

議事(1) 羽島市の新たな学校像について(教育制度、学校運営、学校配置等)

本日審議いただく際のポイント

羽島市の新たな学校像について

- ・「羽島市が目指す教育」と「願う子どもの姿」を具現する教育のあり方
- ・子どもたちが安心して豊かに学べる教育制度、学校制度・運営、施設のあり方

1 前回の会議での主な意見

- ・「羽島市が目指す教育」や、そのために「願う子どもの姿」がわかりやすい。
- ・大きい規模の学校もあれば、小さい規模の学校もある。全市的に教育のあり方を考えるのは難しさがある。校区ごとの違いを整理していくとよい。
- ・校区ごとに特色ある教育が実施することはよいが、義務教育としての公平性や公共性、平等性は確保する必要がある。
- ・教育のあり方や学校施設のことを考えるうえで、10年、20年先でも子どもたちが通いやすいものにしてあげたい。
- ・学校施設を複合化することで、地域と学校の情報共有が容易になる。また、それぞれの学校の教育の特色に惹かれて、子どもだけでなく、地域や特性のある人が学校に集まることができるようにしたい。
- ・教育的ニーズが多様になることを踏まえ、学校の特色から子どもが学校を主体的に選択できるようなるとよい。
- ・特色を出すことは大切だが、先生たちの負担増にならないようにする必要がある。

2 求められる教育

(1) 教育の転換

- ・同じペースで同じ内容を同一集団で行う一律一斉授業から脱却し、子どもの特性に合った多様な「個別最適な学び」が求められている。
- ・グローバル化が進む中で、多様な価値観を認める「Well-being (ウェルビ

ーイング)」(※1)な社会の一員として活躍するために協働的な学びを提供する環境が求められている。

- ・社会の変化に伴い、学校の役割も変化し、学びを提供する場から「シビックプライド」(※2)のもと地域の核として、地域の絆をつなぐ役割を担うことも考えて意識をしていく必要がある。

※1…身体的・精神的・社会的に良い状態にあることを言い、短期的な幸福のみならず生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。

※2…自分たちが住んでいる地域に対する誇り。住民が自分たちの地域や自治体に誇りを持ち、それを支え改善しようとする姿勢。

【令和3年1月26日 中央教育審議会答申より】

【羽島市第七次総合計画(案)より】

【Society5.0の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージより】

(2)「羽島市が目指す教育」と「願う子どもの姿」

羽島市が目指す教育：「次代の羽島を担う心豊かな子どもの育成」

「願う子どもの姿」

- 体験的な活動や話し合い活動を通じて、多様な考えに触れる。

【これまでの検討委員会で出た主な意見】

- ・本物に触れる活動や多種多様な体験が「志」をもつことにつながる。
- ・体験や対話を通じて学ぶことは、心の豊かさにつながる。
- ・多様化、複雑化する時代だからこそ、できるだけ多くの考えに触れることが一人一人の経験値を高めることになる。

- 複数の情報や経験の中から選択、決定を繰り返し、自分の可能性を広げる。

【これまでの検討委員会で出た主な意見】

- ・これからの時代では、学習内容や活動場所は多様化してくる。多様な選択肢の中から主体的に選択、決定、行動する力は大切である。
- ・羽島市は、ICT 機器（タブレット端末等）を用いた実践が豊富であるため、「強み」とするとよい。

○多様性や流動性のある豊かな人間関係の中で切磋琢磨しながら、学びを深める。

【これまでの検討委員会で出た主な意見】

- ・ 様々な人たちと接することで、自分を見つめたり、自分を変えたりするきっかけになる。(同年齢・異年齢・地域の人等)
- ・ 小中規模の学校では、人間関係が固定化されがちである。
- ・ クラス替えがないため、人間関係が複雑化し、不登校となる事例もある。集団の中に流動性や多様性が生まれることは大切である。

○未来を拓く「学力の定着」や「体力の向上」を目指す。

【これまでの検討委員会で出た主な意見】

- ・ 自らが興味をもち学んだ知識を活用したい、試したいという思いが、「体験」へとつながる。
- ・ 今後の社会を生きる上で基礎となる「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」等の育成は重要である。

3 中学校区の主な特色

(1) 教育環境

| 中学校区 | 主な特徴 |
|-----------------------------|--|
| 羽島中学校区 (足近小・小熊小・正木小・羽島中) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 小規模小学校 2 校（足近・小熊）と大規模小学校 1 校（正木）、大規模中学校 1 校で構成される。 ・ 足近と小熊は岐阜市に隣接しており、2 校間の距離は約 2.5 km、正木小－足近小は約 2.0 km、正木小－小熊小は約 4.7 km、足近小－羽島中は約 1.2 km、小熊小－羽島中は約 3.7 km、正木小－羽島中は約 1.4 kmである。 ・ 防災教育に力を入れている。 ・ 小中学校区 4 校の代表児童生徒と各学校運営協議会の大人が地域の今後について話し合う「絆会議」がある。 ・ 学びの多様化を支援するための校内適応指導教室「のぞみ」が小熊小学校内にある。 |

| | |
|-------------------------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・清流スタジアム、市運動公園、河川敷グラウンド等があり、スポーツができる環境が整っている。 ・県立羽島特別支援学校があり、交流を行っている。 ・美濃路街道や西方寺、一乗寺等の文化財がある。 |
| 竹鼻中学校区 (竹鼻小・福寿小・竹鼻中) | <ul style="list-style-type: none"> ・大規模小学校(竹鼻小)と中規模小学校(福寿小)の2校、大規模中学校で構成される。 ・竹鼻小-福寿小は約1.9km、竹鼻小-竹鼻中は約1.9km、福寿小-竹鼻中は約2.3kmである。 ・羽島市役所、東海道新幹線岐阜羽島駅があり、名鉄竹鼻線が校区の中心を通っている。校区は住宅地や商業地の割合が高く、市内では人口密度が比較的高い。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・小学校には能や鼓笛等、芸能に関するカリキュラムがあり、中学校には吹奏楽部がある。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・県立羽島高等学校がある。 ・古いまちなみが残り、本覚寺、永昌寺、平方勢獅子、竹鼻別院のフジ等の文化財・記念物がある。 ・不二羽島文化センターや不二竹鼻町屋ギャラリー、羽島市歴史民俗資料館・映画資料館、竹鼻まつり山車会館があり、市の文化活動の拠点となっている。 |
| 中央中学校区 (中央小・中央中) | <ul style="list-style-type: none"> ・大規模小学校と中学校の一小一中であり、小中の学校の距離は、約1.2kmである。 ・キャリア教育に力を入れており、「ようこそ先輩」「志教育」等を行っている。 ・小中で職員の交流に取り組んでいる。 ・地域防災訓練等、コミュニティセンターが中心となった地域活動が積極的に行われている。 ・一小一中のよさを活かし、中学校区合同学校運営協議会、地域学校協働活動(あいさつ活動等)を実施している。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・県立看護大学がある。 ・長間薬師寺、羽島雨乞い踊り、芭蕉の句碑等の文化財がある。 |

| | |
|---------------------------------|--|
| <p>中島中学校区 (堀津小・中島小・中島中)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・小規模小学校(堀津・中島)と小規模中学校で構成されている。堀津小ー中島小は約 2.8 km、中島小ー中島中は約 900m、堀津小ー中島中は約 2.6 kmである。 ・小学校のカリキュラムの中に地域の活動が取り入れられており、堀津音頭の伝承やコミュニティセンターの役割等の「ふるさと教育」に力を入れている。 ・幼保小連携モデルの小学校区があり、「幼保小の架け橋期カリキュラム」の作成に先進的に取り組んでいる。 ・地域を含めたボランティア活動が充実しており、2020 年には「ボランティアスピリットアワードコミュニティ賞」を受賞している。 ・部活動は、他の中学校と合同で実施している。 ・中観音堂、加賀野井城跡、三七松の遺跡等の文化財・記念物がある。 |
| <p>桑原学園校区</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年 4 月、隣接している旧桑原小・旧桑原中を一つの義務教育学校「桑原学園」として開校した。 ・異年齢集団での活動(縦割り活動・「教え学び愛科」等)や教科担任制を取り入れた実践を行っている。 ・地域の方の協力や協働活動による授業が充実しており、「栽培活動(スイカ・サツマイモ・大豆)」や「青田刈り」等、地域の豊かな自然を生かした体験的な活動が充実している。 ・学園生が「夏祭り、運動会、文化祭」等の地域行事に参加する機会がある。 ・長年にわたり F B C (フラワーブラボーコンクール)に参加する等、花活動が行われている。 ・部活動は、他の中学校と合同で実施している。 ・金宝寺、真福寺、八神城跡等の文化財・記念物がある。 |

(2) 児童生徒数の推移

「願う子どもの姿」を具現していくためには、今後の児童生徒数の推移や学校施設の状況も踏まえて考える必要がある。

全校児童生徒数 ()内は、学級数【令和12年度は特別支援学級は含まず】

| 学校区 | 学校名 | 令和6年度 | 令和12年度(推定) | 変動率 |
|--------|-----|----------|------------|-------|
| 羽島中学校区 | 足近小 | 178 (8) | 100 (6) | 56.2% |
| | 小熊小 | 134 (7) | 104 (6) | 77.6% |
| | 正木小 | 711 (25) | 502 (16) | 70.7% |
| | 羽島中 | 601 (19) | 485 (15) | 80.7% |

| 学校区 | 学校名 | 令和6年度 | 令和12年度(推定) | 変動率 |
|--------|-----|----------|------------|--------|
| 竹鼻中学校区 | 竹鼻小 | 657 (24) | 544 (18) | 82.8% |
| | 福寿小 | 515 (22) | 533 (17) | 103.5% |
| | 竹鼻中 | 587 (18) | 588 (19) | 100.2% |

| 学校区 | 学校名 | 令和6年度 | 令和12年度(推定) | 変動率 |
|--------|-----|----------|------------|-----|
| 中央中学校区 | 中央小 | 796 (29) | 645 (20) | 81% |
| | 中央中 | 395 (13) | 387 (13) | 98% |

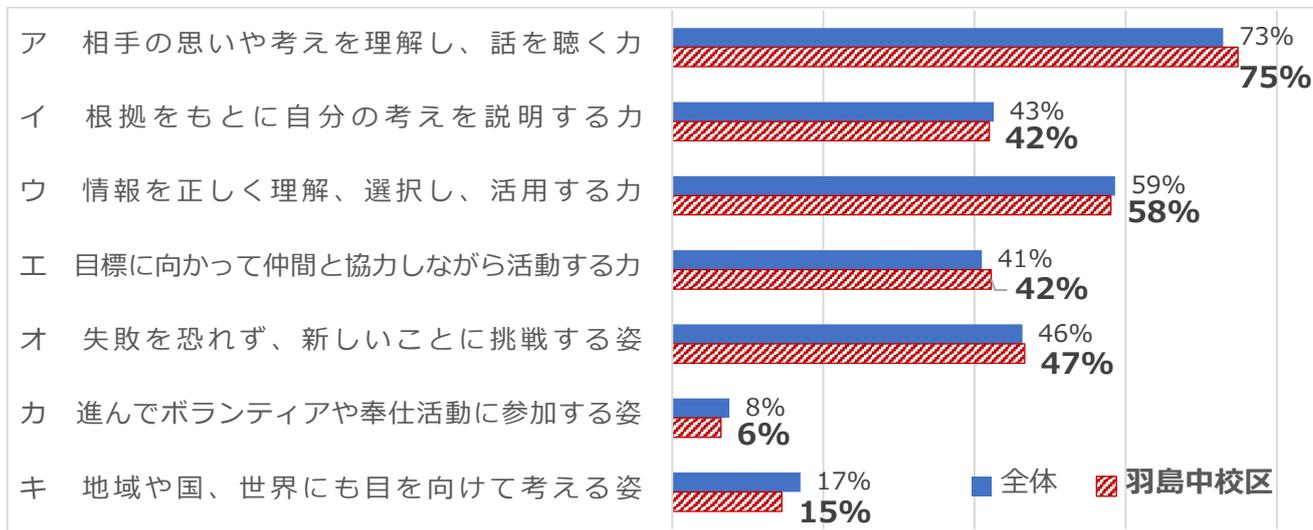
| 学校区 | 学校名 | 令和6年度 | 令和12年度(推定) | 変動率 |
|--------|-----|---------|------------|-------|
| 中島中学校区 | 堀津小 | 139 (7) | 117 (6) | 84.2% |
| | 中島小 | 178 (8) | 144 (6) | 80.9% |
| | 中島中 | 202 (8) | 148 (8) | 73.3% |

| 学校区 | 区分 | 令和6年度 | 令和12年度(推定) | 変動率 |
|--------|------|--------|-------------|-------|
| 桑原学園校区 | 前期課程 | 91 (6) | 52 (5) <複式> | 57.1% |
| | 後期課程 | 52 (3) | 33 (3) | 63.5% |

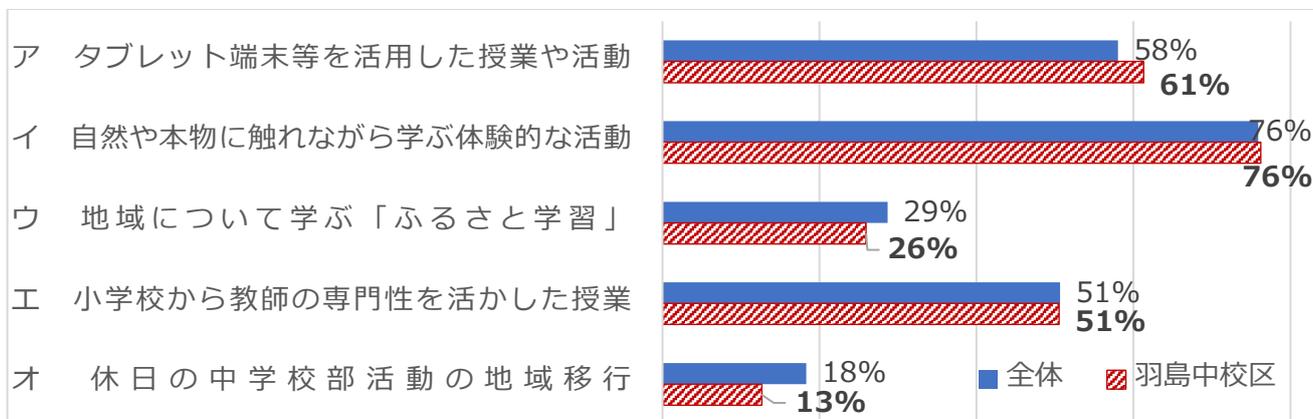
※児童生徒数は、令和6年5月1日時点の羽島市人口統計に基づく数値であり、将来の児童生徒数を確定した数値ではない。

◆羽島中校区 アンケート結果

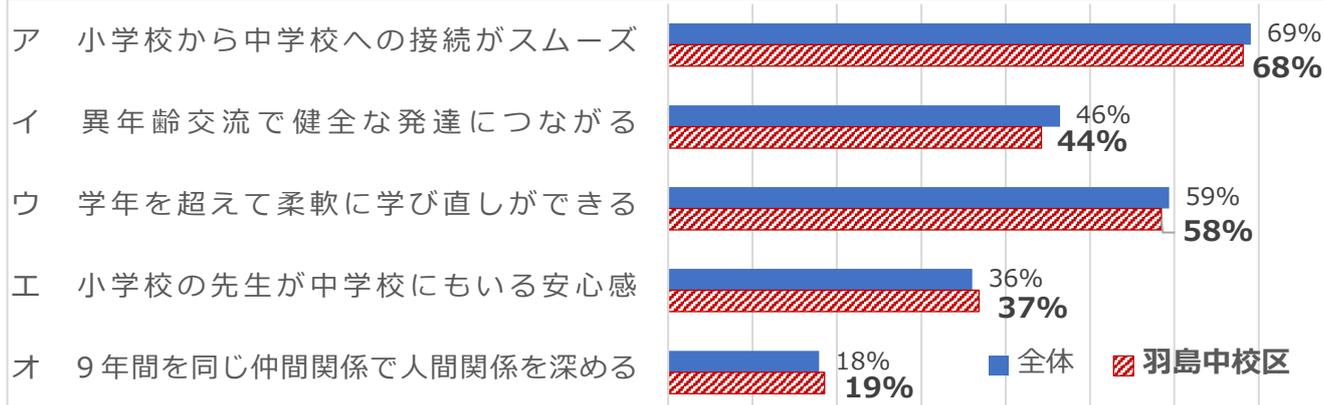
Q4 羽島市の子どもたちや我が子に身に付けさせたい、これからの社会人に必要だと思う力や姿は



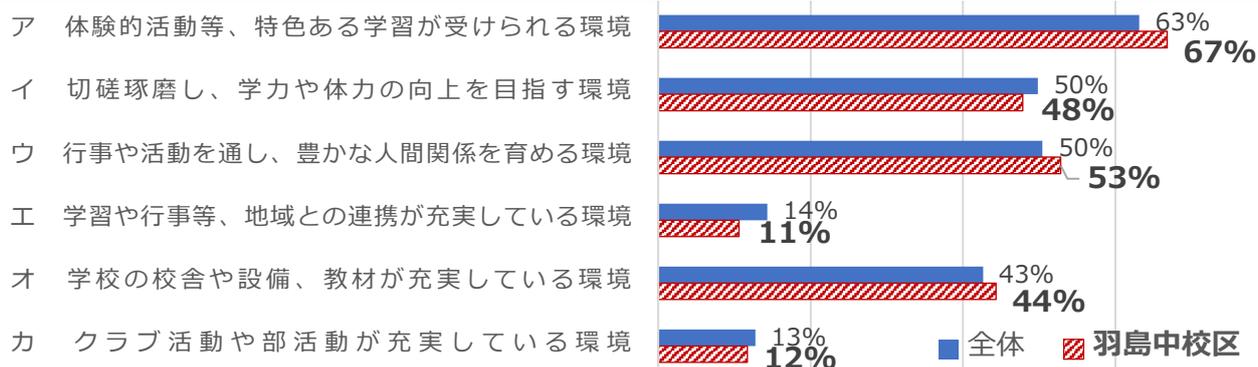
Q5 羽島市の学校教育の特色のうち、さらに積極的に取り組んでほしいことは



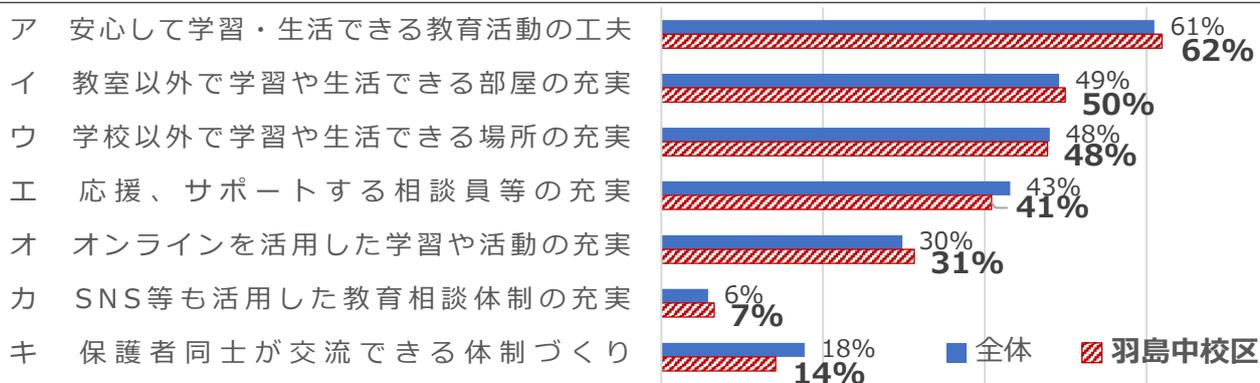
Q6 羽島市では、小中一貫教育の推進について期待する内容は



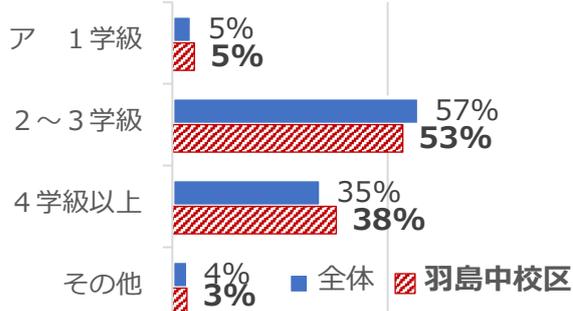
Q7 羽島市の今後の学校における望ましい教育環境は



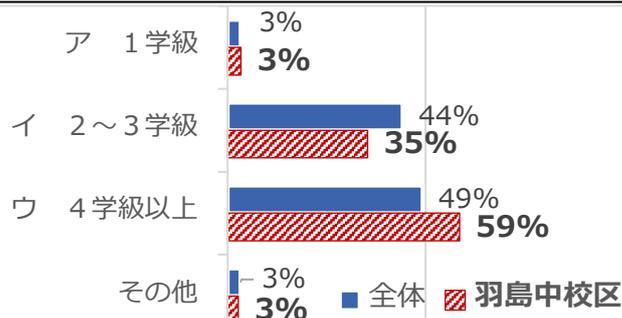
Q8 不登校及び不登校傾向の児童生徒への支援について今後さらに取り組んでほしいことは



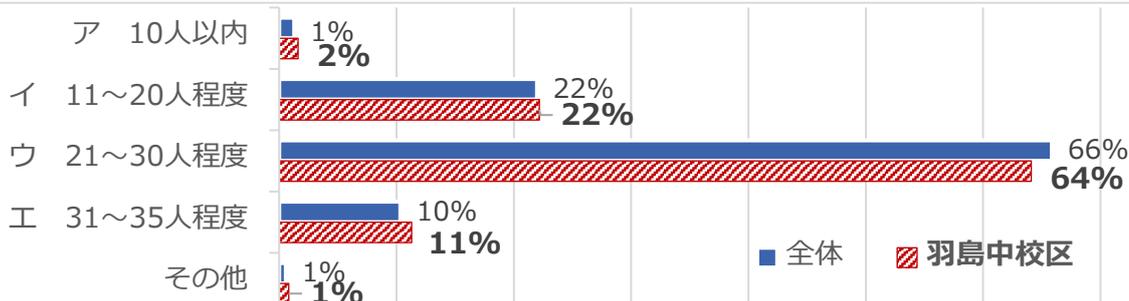
Q9 小学校及び義務教育学校前期課程では、1学年に何学級あることが望ましいか



Q10 中学校及び義務教育学校後期課程では、1学年に何学級あることが望ましいか

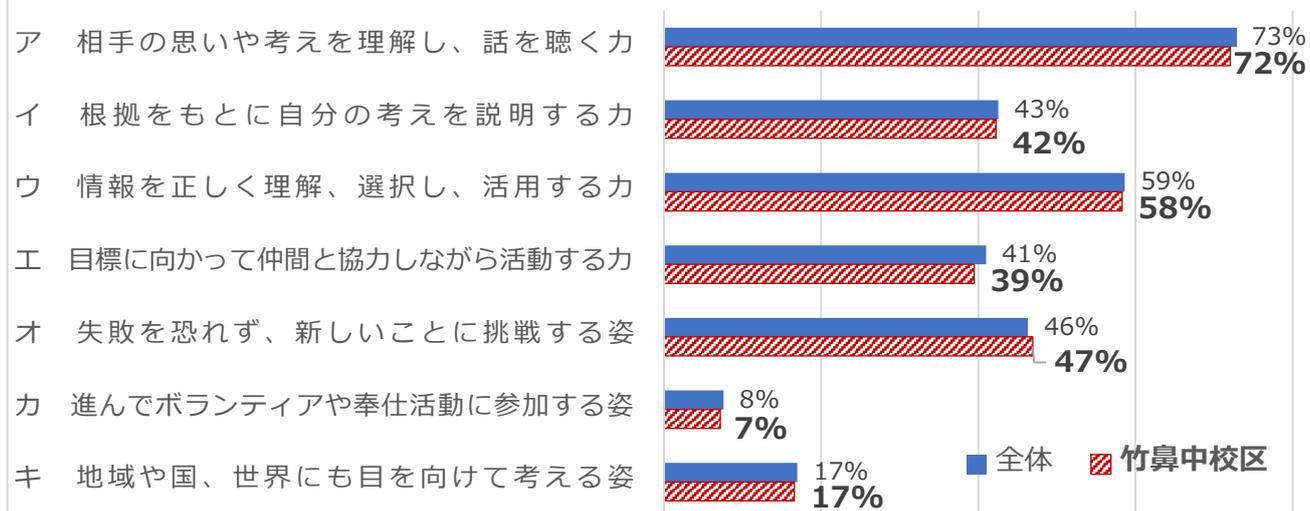


Q11 1学級あたりの児童生徒数は、何人程度が望ましいか

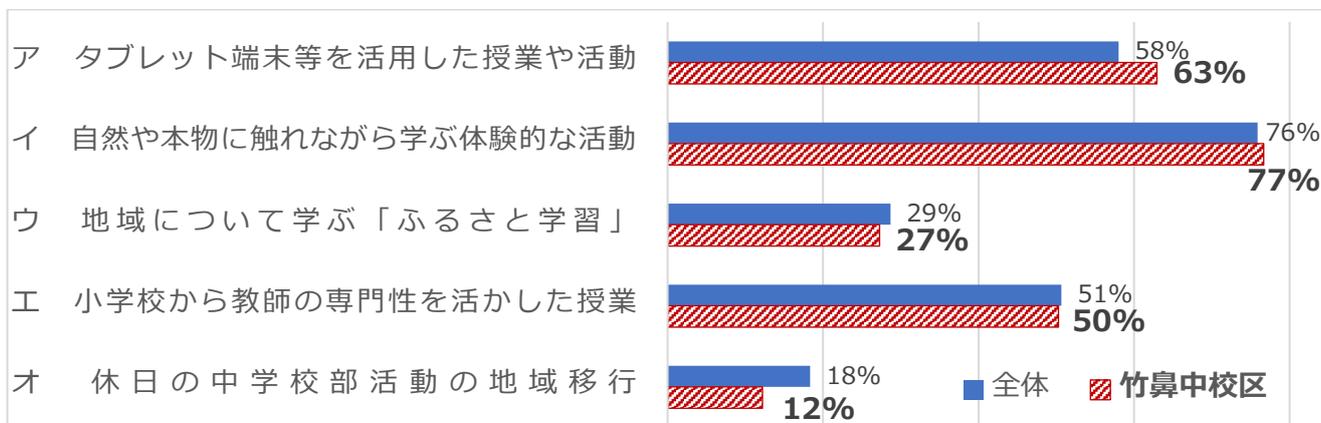


◆竹鼻中校区 アンケート結果

Q4 羽島市の子どもたちや我が子に身に付けさせたい、これからの社会人に必要だと思う力や姿は



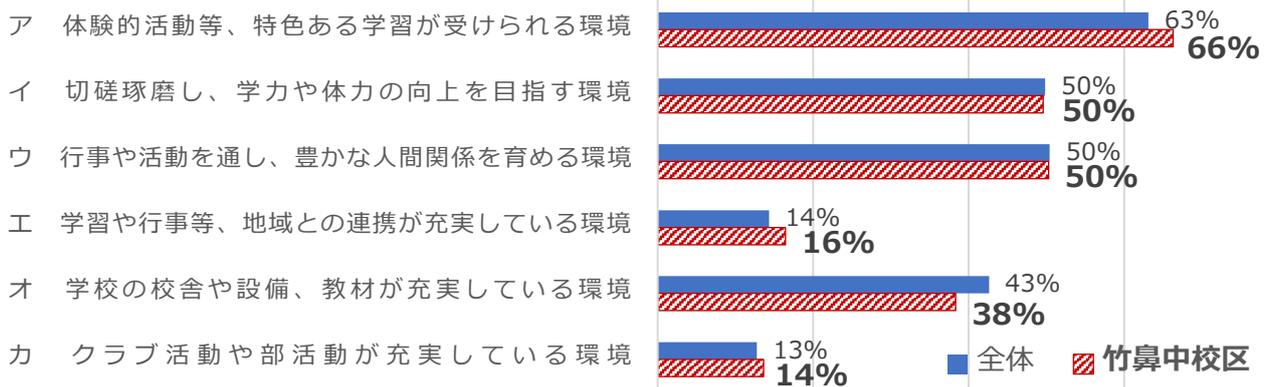
Q5 羽島市の学校教育の特色のうち、さらに積極的に取り組んでほしいことは



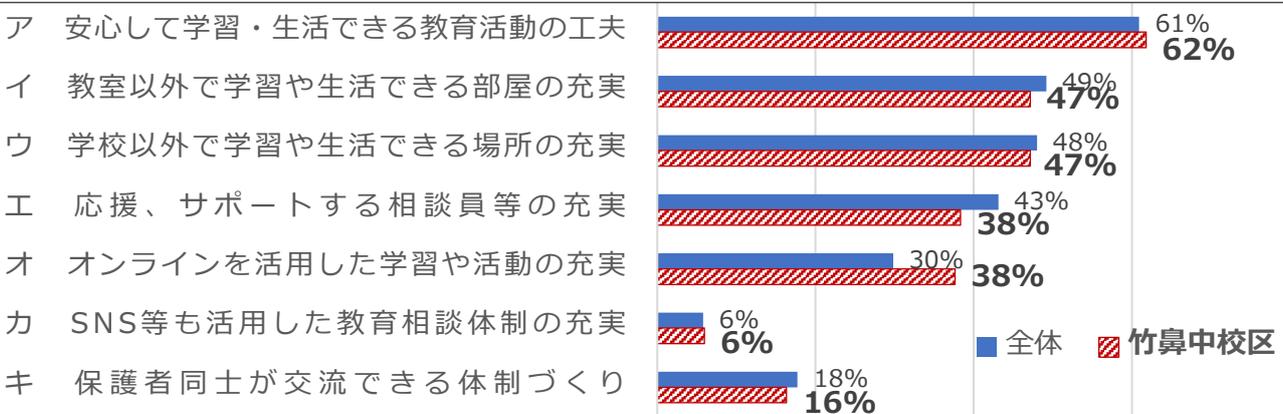
Q6 羽島市では、小中一貫教育の推進について期待する内容は



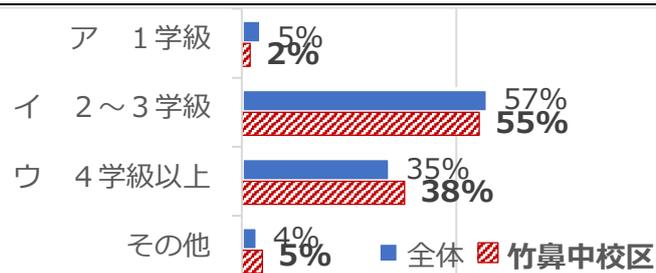
Q7 羽島市の今後の学校における望ましい教育環境は



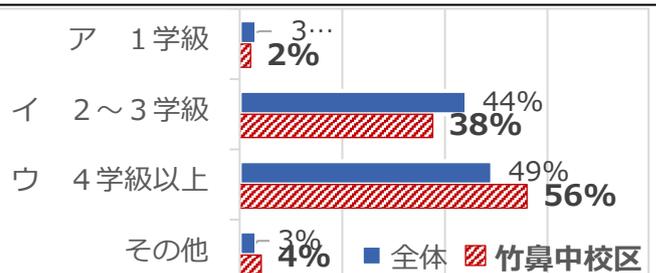
Q8 不登校及び不登校傾向の児童生徒への支援について今後さらに取り組んでほしいことは



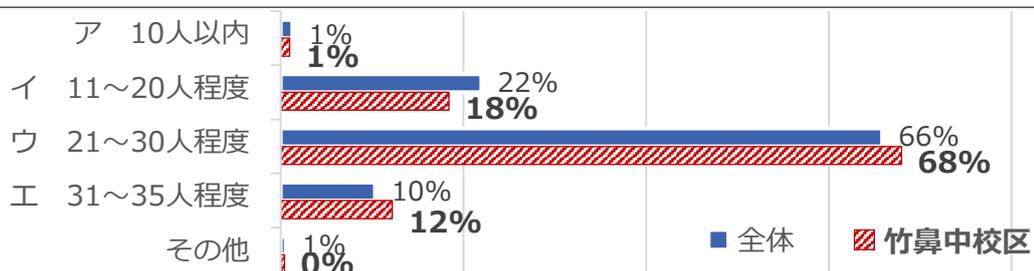
Q9 小学校及び義務教育学校前期課程では、1学年に何学級あることが望ましいか



Q10 中学校及び義務教育学校後期課程では、1学年に何学級あることが望ましいか

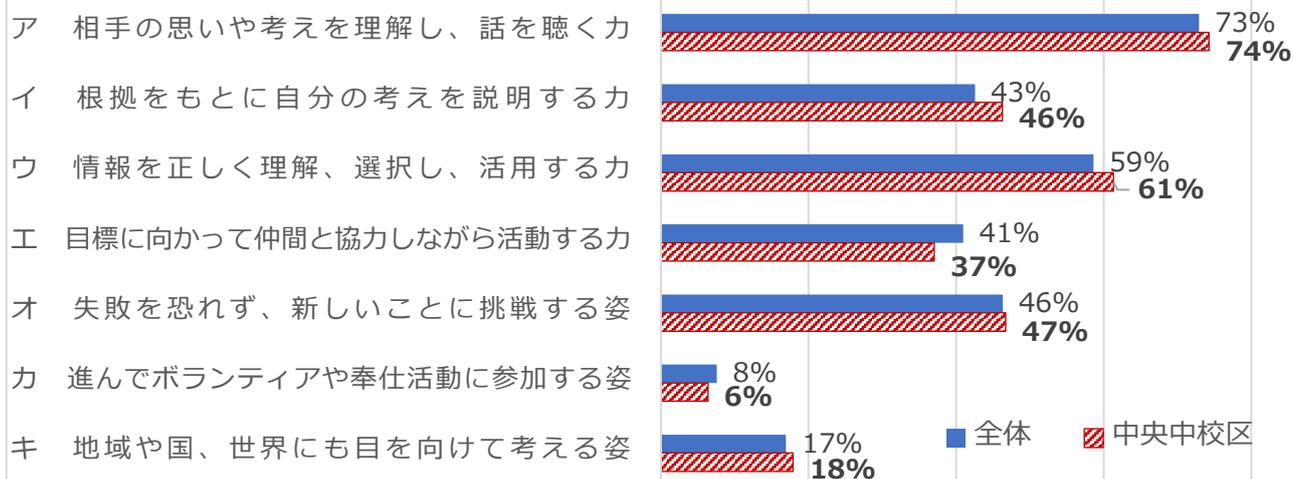


Q11 1学級あたりの児童生徒数は、何人程度が望ましいか

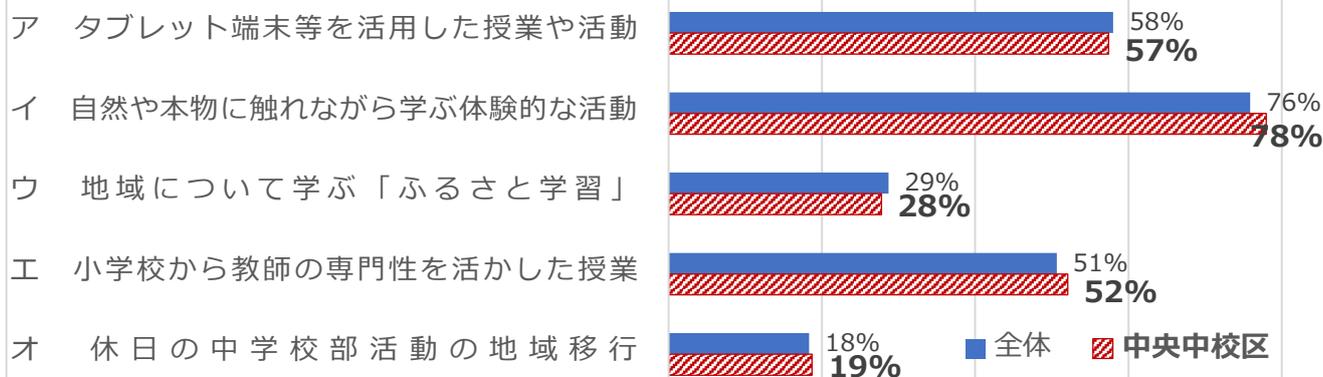


◆中央中校区 アンケート結果

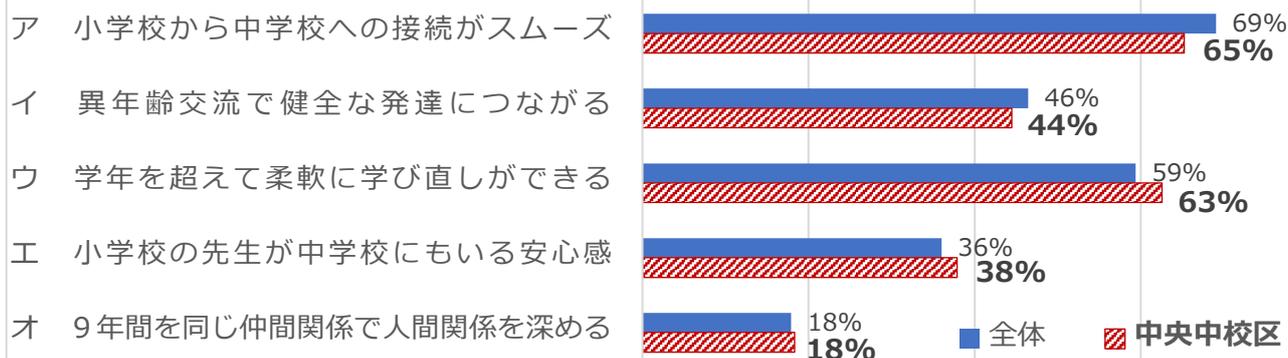
Q4 羽島市の子どもたちや我が子に身に付けさせたい、これからの社会人に必要だと思う力や姿は



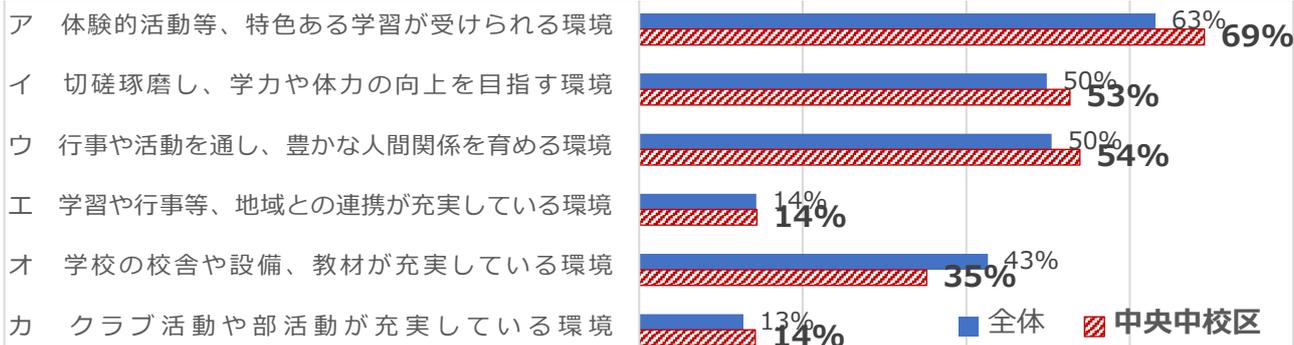
Q5 羽島市の学校教育の特色のうち、さらに積極的に取り組んでほしいことは



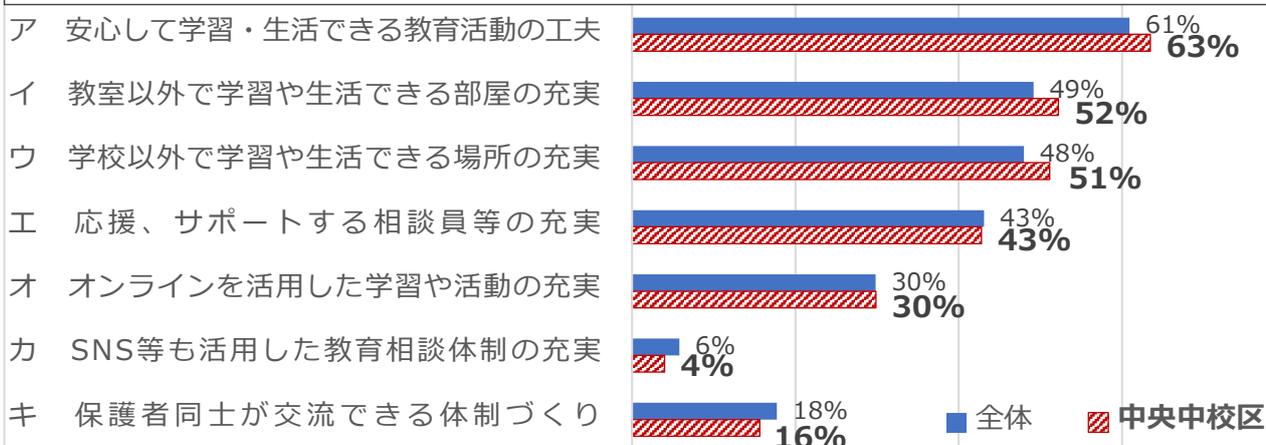
Q6 羽島市では、小中一貫教育の推進について期待する内容は



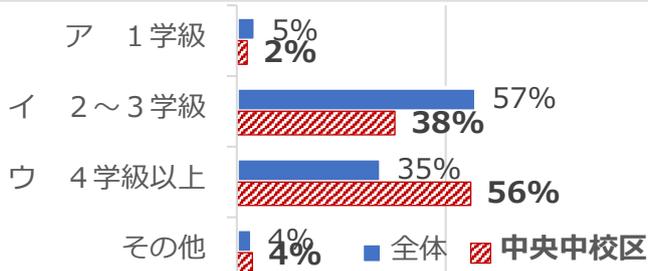
Q7 羽島市の今後の学校における望ましい教育環境は



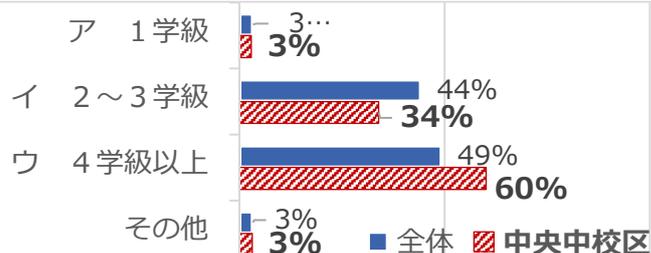
Q8 不登校及び不登校傾向の児童生徒への支援について今後さらに取り組んでほしいことは



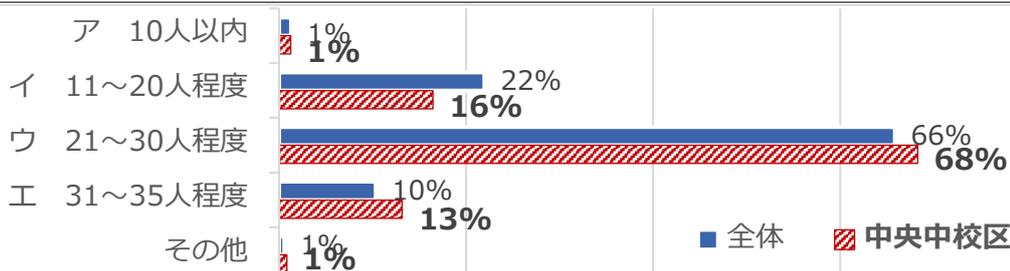
Q9 小学校及び義務教育学校前期課程では、1学年に何学級あることが望ましいか



Q10 中学校及び義務教育学校後期課程では、1学年に何学級あることが望ましいか

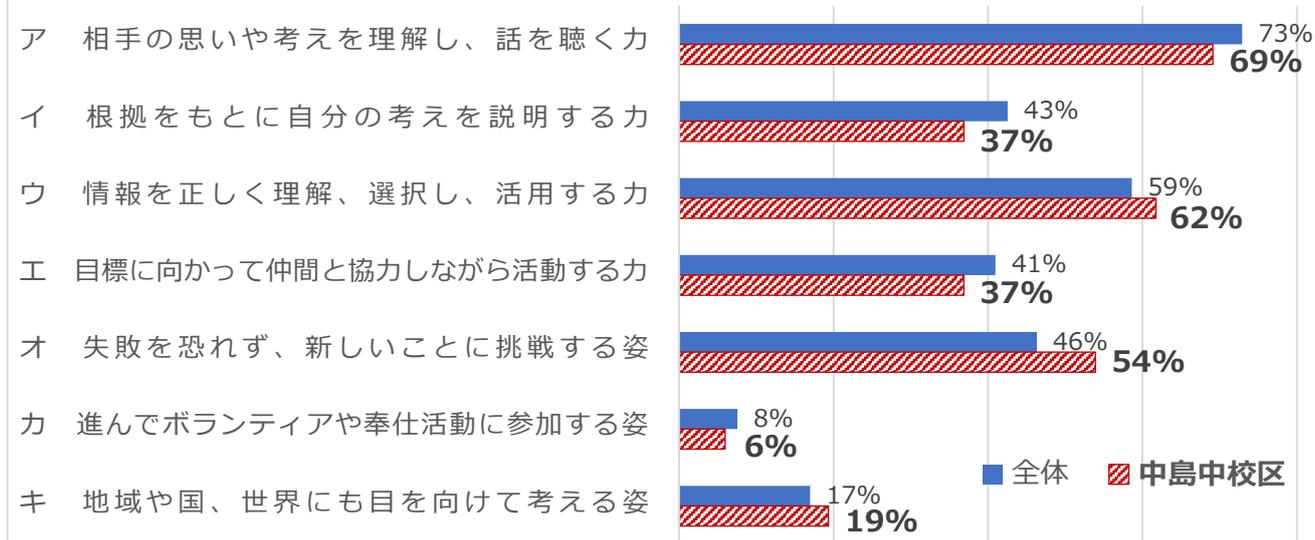


Q11 1学級あたりの児童生徒数は、何人程度が望ましいか

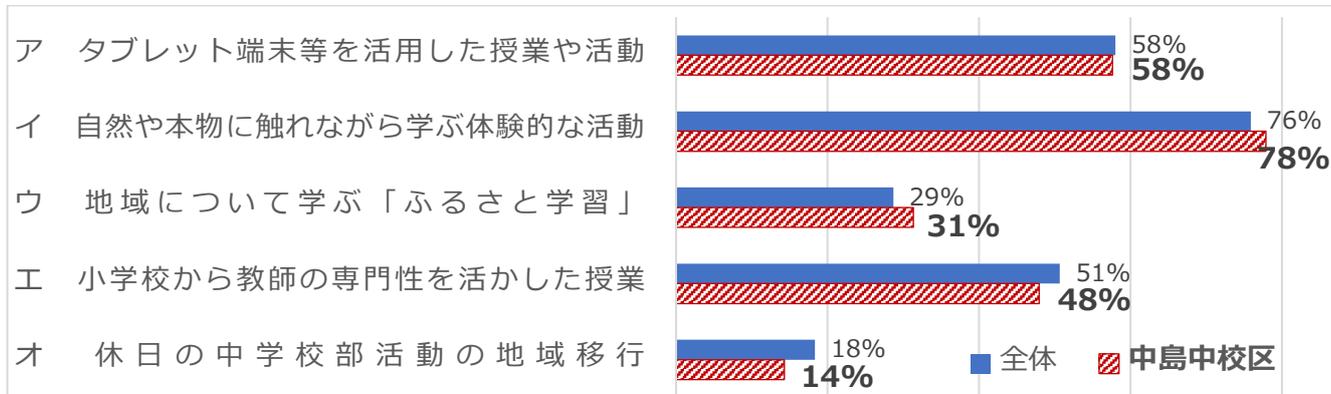


◆中島中校区 アンケート結果

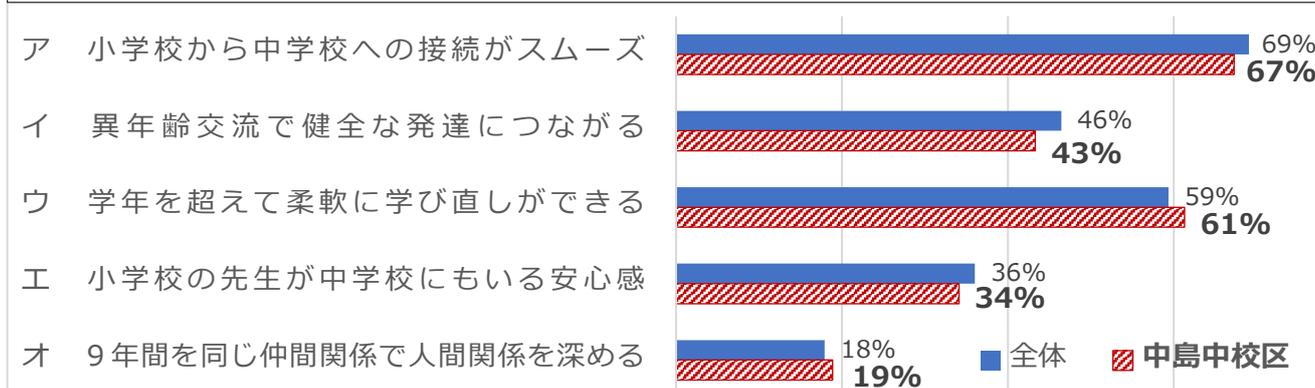
Q4 羽島市の子どもたちや我が子に身に付けさせたい、これからの社会人に必要だと思う力や姿は



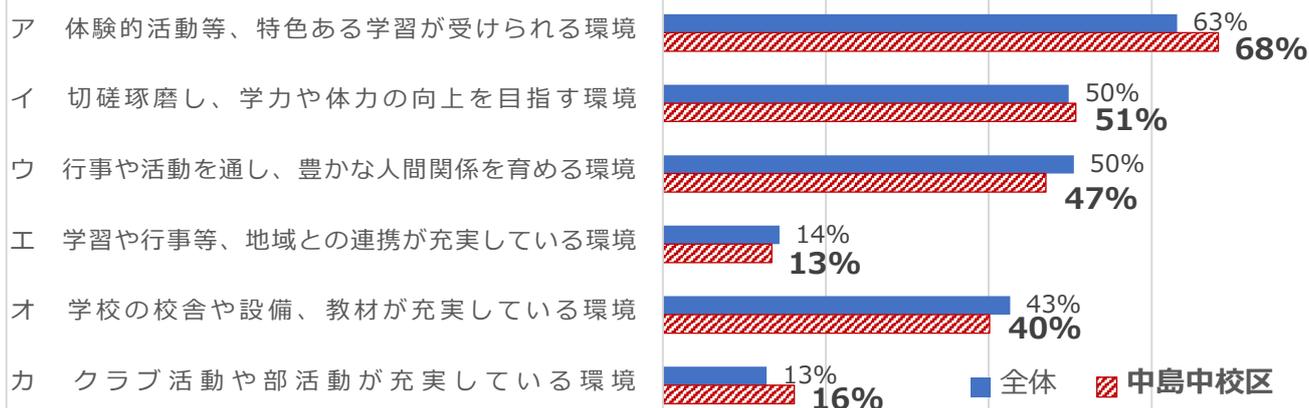
Q5 羽島市の学校教育の特色のうち、さらに積極的に取り組んでほしいことは



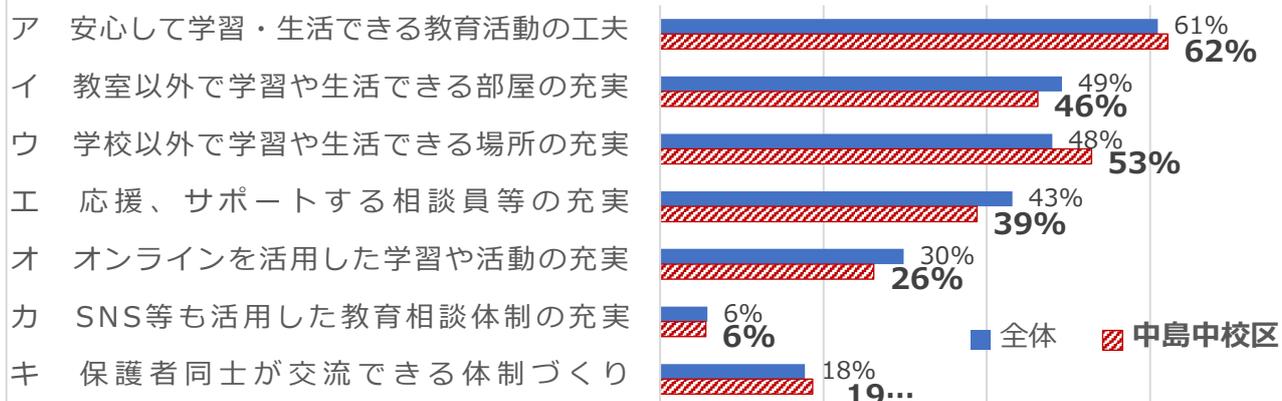
Q6 羽島市では、小中一貫教育の推進について期待する内容は



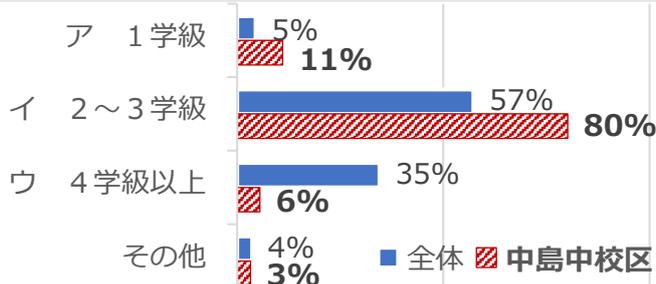
Q7 羽島市の今後の学校における望ましい教育環境は



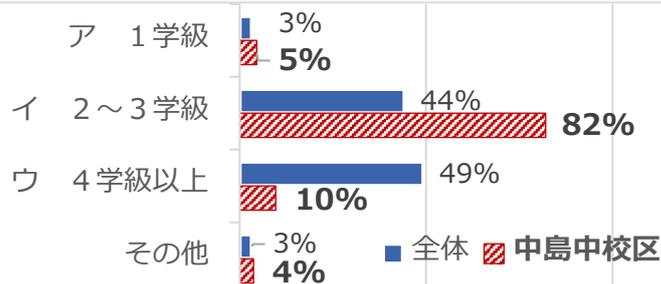
Q8 不登校及び不登校傾向の児童生徒への支援について今後さらに取り組んでほしいことは



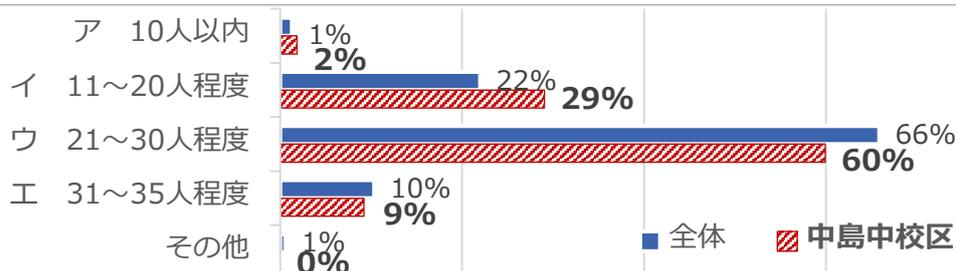
Q9 小学校及び義務教育学校前期課程では、1学年に何学級あることが望ましいか



Q10 中学校及び義務教育学校後期課程では、1学年に何学級あることが望ましいか

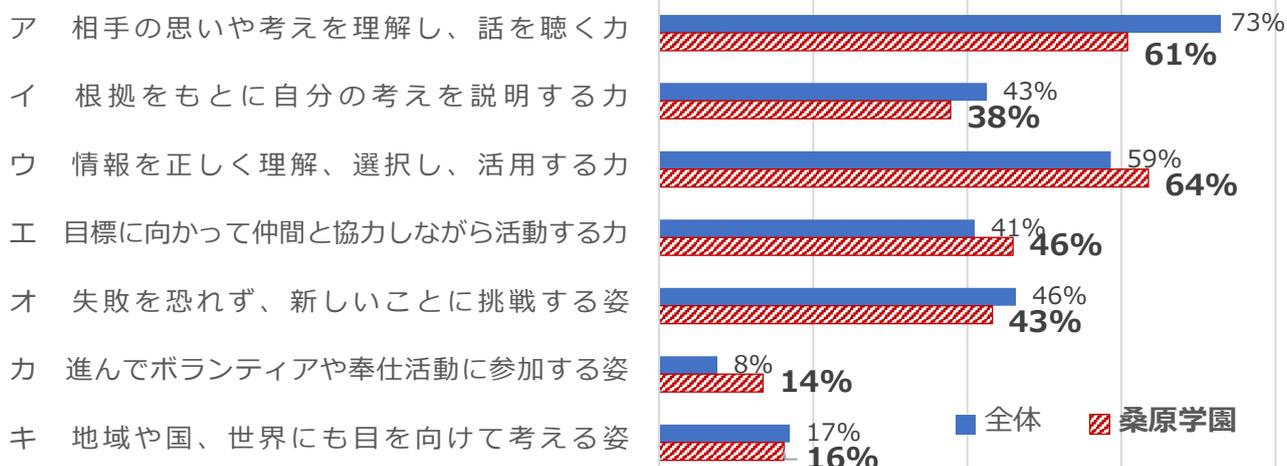


Q11 1学級あたりの児童生徒数は、何人程度が望ましいか

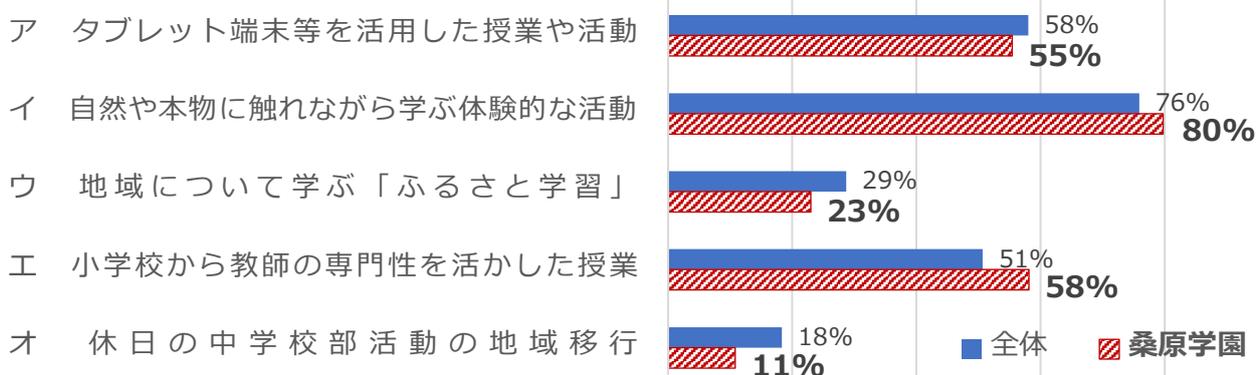


◆桑原学園校区 アンケート結果

Q4 羽島市の子どもたちや我が子に身に付けさせたい、これからの社会人に必要だと思う力や姿は



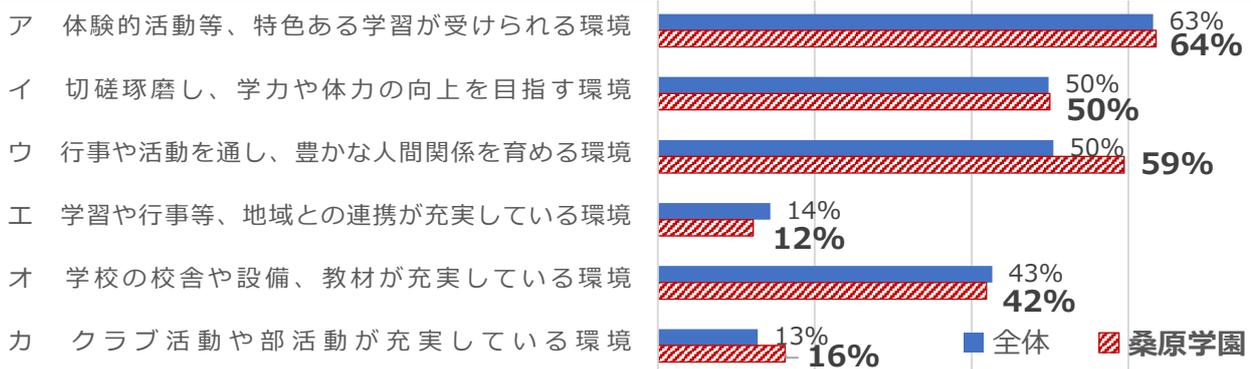
Q5 羽島市の学校教育の特色のうち、さらに積極的に取り組んでほしいことは



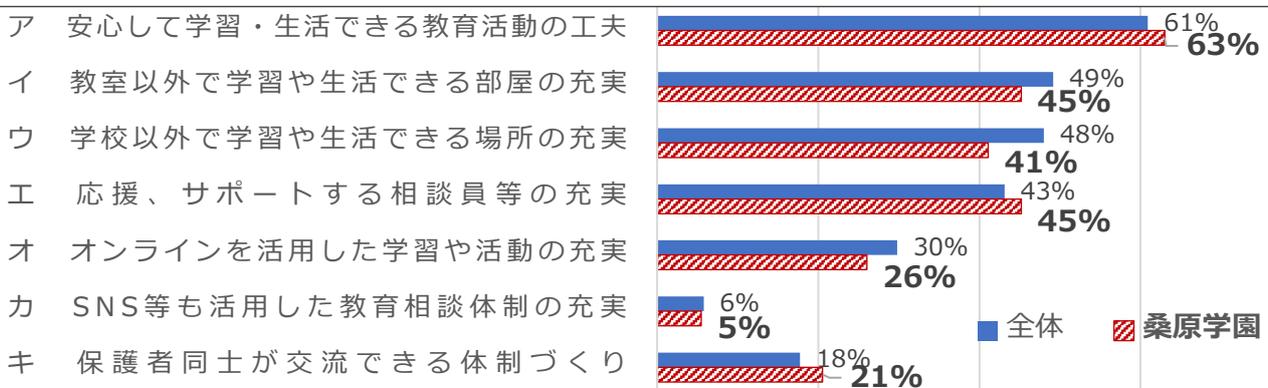
Q6 羽島市では、小中一貫教育の推進について期待する内容は



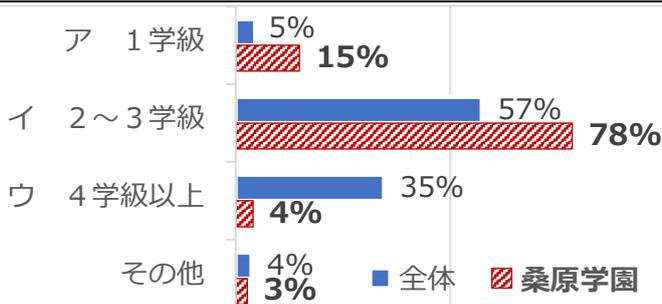
Q7 羽島市の今後の学校における望ましい教育環境は



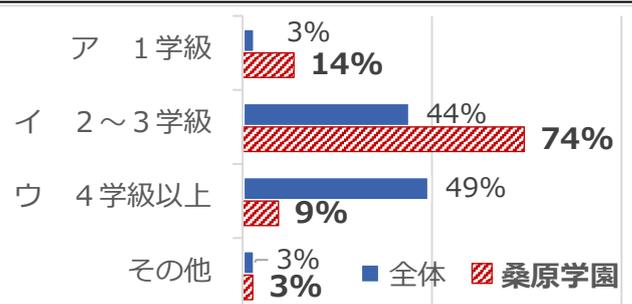
Q8 不登校及び不登校傾向の児童生徒への支援について今後さらに取り組んでほしいことは



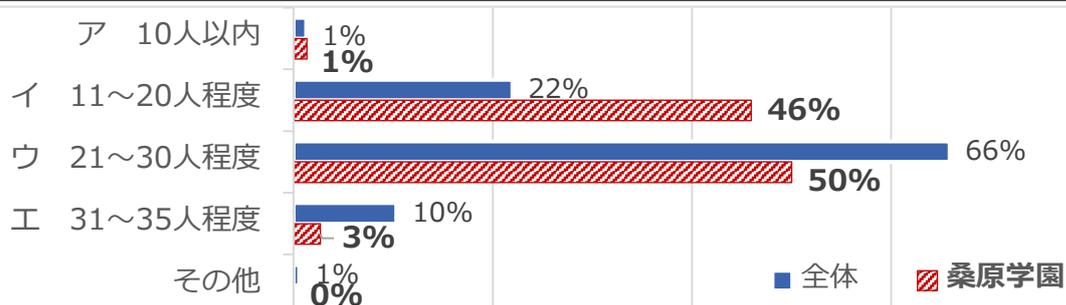
Q9 小学校及び義務教育学校前期課程では、1学年に何学級あることが望ましいか



Q10 中学校及び義務教育学校後期課程では、1学年に何学級あることが望ましいか



Q11 1学級あたりの児童生徒数は、何人程度が望ましいか



(4) 今後 10 年間の学校施設の状況

安全・安心な教育環境を確保しつつ、新しい時代の学びを実現する教育環境の充実や計画的・効率的な施設整備を推進していく必要がある。

①学校施設の維持管理

- ・市内を 3 地区（北部、中部、南部）に分け、毎年 1 地区を専門業者による定期点検を実施する。
- ・毎年、市技術職員による点検を実施する。（専門業者による定期点検を実施した学校は除く）

②学校施設の整備計画

- ・長寿命化計画に基づき、計画的な施設の改修等を実施する。

③中学校区ごとの学校施設の状況

| 中学校区 | 学校施設の状況 |
|--------|---|
| 羽島中学校区 | 今後 10 年間に目標使用年数に到達する施設なし |
| 竹鼻中学校区 | 2030～2031 年度（令和 12～13 年度） 竹鼻中学校北舎が目標使用年数（70 年）を経過 |
| 中央中学校区 | 2031～2032 年度（令和 13～14 年度） 中央小学校北舎が目標使用年数（75 年）を経過 |
| 中島中学校区 | <u>2024 年度（令和 6 年度）</u> <u>中島小学校校舎東側耐力度調査業務委託</u> 2029～2030 年度（令和 11～12 年度） 中島小学校校舎の一部が目標使用年数（70 年）を経過 |
| 桑原学園校区 | 今後 10 年間に目標使用年数に到達する施設なし |

※目標使用年数（70 年・75 年・80 年）

建物構造、新旧耐震、コンクリート圧縮強度により以下のように設定している。

| 区分 | 目標使用年数 |
|---|--------|
| S 造全て及び RC 造 旧耐震（コンクリート圧縮強度 13.5N/mm ² 超～20N/mm ² 未満） | 70 年 |
| RC 造 旧耐震（コンクリート圧縮強度 20N/mm ² 以上～30N/mm ² 未満） | 75 年 |
| RC 造 旧耐震（コンクリート圧縮強度 30N/mm ² 以上）及び新耐震 | 80 年 |

羽島市教育施設位置図

資料 2



Map legend and scale information.

| | |
|---|--------|
| ● | 小学校 |
| ● | 中学校 |
| ● | 高等学校 |
| ● | 幼稚園 |
| ● | こども園 |
| ● | 保育園 |
| ● | 特別支援学校 |
| ● | 大学 |
| ● | 学園 |

0 1km 2km

Legend table.

| | |
|---|--------|
| ● | 小学校 |
| ● | 中学校 |
| ● | 高等学校 |
| ● | 幼稚園 |
| ● | こども園 |
| ● | 保育園 |
| ● | 特別支援学校 |
| ● | 大学 |
| ● | 学園 |

